

授業科目名	公衆衛生看護学概論(2300251)		
時間割名	公衆衛生看護学概論(42204)		
時間割担当	芝田ゆかり		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	木・2		

授業の目標・概要

公衆衛生看護の歴史の変遷をふまえ、今日的な活動の理念と目的を理解する。また広範な対象とあらゆる健康レベルに及ぶ健康課題に対応していく考え方、集団を対象とした健康課題の捉え方や予防対策について学ぶ。公衆衛生看護を構成する各分野や対象となる人々の特質、公衆衛生看護固有の方法論、活動の法的基盤についても触れ、公衆衛生看護学の全体像を把握する。

学習の到達目標

1. 公衆衛生看護活動が地域で生活する人々の健康と生活の質を向上させることを目的としていることを理解する。
2. 公衆衛生看護学の全体像を把握し、実践方法を学ぶ基盤とする。

授業方法・形式

講義形式を中心として、一部グループワークを取り入れます。

授業計画

- 第1回 健康問題の変化と公衆衛生看護の課題の変化
わが国の社会構造の歴史の変遷と疾病構造の変化
- 第2回 健康のとらえ方と公衆衛生
健康の定義およびその諸側面と成立要因 - 健康の保持増進・疾病の予防を考える基盤 -
- 第3回 公衆衛生の課題の変遷とわが国の公衆衛生看護活動の形成、発展の歴史
公衆衛生看護活動の実践を知り、その原理を探る
- 第4回 健康施策の世界的潮流
プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション
- 第5回 わが国の健康施策の変遷
国民健康づくり運動の歴史的变化とその背景
- 第6回 諸外国における公衆衛生看護活動の歴史的発展
日本における保健師活動との共通点と差異
- 第7回 コミュニティの構成要素とシステム
公衆衛生看護活動の対象としてのコミュニティ
- 第8回 人々の生活と健康、コミュニティに影響を及ぼす諸要因
コミュニティアセスメントの目的と方法
- 第9回 公衆衛生看護活動の対象と特性
個人・家族：それぞれの発達と健康に関わる要素
- 第10回 公衆衛生看護活動の対象と特性
小集団・特定集団・組織：集団の把握方法
- 第11回 わが国の公衆衛生看護活動の実践と法的根拠
産業・学校・行政における保健活動と関連法規
- 第12回 公衆衛生看護活動における健康危機管理
自然災害、感染症などの発生と公衆衛生看護
- 第13回 公衆衛生看護活動の方法
個人・家族を対象とした家庭訪問：対象の把握方法と訪問の実際
- 第14回 公衆衛生看護活動の方法
健康づくり、健康教育、地区組織活動の実際
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

定期試験60%、グループワークのプレゼンテーション30%、授業参加10%

授業時間外の課題

予習・復習は必ず行ってください。特に復習をしっかりと行って次の授業に臨んでください。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

1. 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論：医学書院
2. 「国民衛生の動向」厚生統計協会

参考書

1. 保健師業務要覧 第3版 井伊久美子他編集 日本看護協会出版会
2. コミュニティ アズ パートナー 地域看護学の理論と実際 第2版 編集：エリザベス T. アンダーソン、ジュディス・マクファレン 監訳：金川克子、早川和生 医学書院